



はるにれ

海老名市立有馬小学校 学校だより
平成 30 年 11 月 30 日 号

校長 村松 かおり

「平成」終了を前にして

例年に比べ寒さの進行が緩やかで、まだまだ秋が続くようにも感じられますが、早いもので今週末には 12 月を迎えます。今年もあと 1 か月、ニュースや新聞でも 1 年を振り返るような話題が増えてきました。また「平成」という時代の終焉に関わるニュースも多く、「平成最後の…」というフレーズが枕詞のようにあちこちで使われています。

ここ 30 年間の社会や暮らしの変化を追うと、情報通信技術の急速な発達が多様なことに影響を及ぼしていることに気付かされます。小学生の生活もその影響を強く受けているといえるでしょう。ICT に関して人一倍苦手意識をもつ自分には、2 学期から学校で活用され始めたタブレットを苦もなく操作する子どもたちの姿はとても頼もしいです。反面、SNS に関するトラブルが年々深刻化・低年齢化していることへ強い危惧の念も抱いています。電子機器を便利に使いこなす技能と並行して、そこから溢れ出す情報とどうつきあっていけるかがますます問われていると思うのです。

新元号がどうなるのかはまだわかりませんが、現在小学校で過ごしている子どもたちが、次の時代を支え社会の中核を担っていくのは間違いありません。未来を切り拓き新しい時代をたくましく生き抜いていく子どもたちのために、学校でできることを着実に進めていかなければと改めて思っています。



ipad で検索中です

たてわり班でGO!

11/20 の長昼休みに児童会主催の縦割りレクが行われました。掲げられた班表示を目指してメンバーがどんどん集まってきます。6 年に連れられたにこにこ顔の 1 年生が合流し、各班が選択した遊び（ドッチボール・十字架鬼・ドロケイ・氷鬼等）を、校庭全面を使って目一杯楽しみました。下級生を気かけながら走り回ったり、力を加減しながらボールを投げたりする上級生の優しい表情。また、譲られたボールを嬉しそうに投げる下級生の姿を見て心温まる思いでした。異学年集団での活動は上級生の自覚を促し、成長することへの憧れを下級生にもたらします。学年を超えた親和性や信頼関係の中で、子どもたちの心がゆっくと耕されていくことを願っています。



12月の主な行事予定

- 3 日(月) 朝会
- 5 日(水) 朝の読み聞かせ
ありまっ子応援団運営委員会
- 6 日(木) 普通日課 5 校時
- 7 日(金) English Day *
- 10 日(月) 朝会
- 11 日(火) 普通日課 5 校時 おはなし会(5・6 年)
- 14 日(金) ひまわり級合同クリスマス会 学校訪問相談
- 17 日(月) 児童朝会(運動委員会) おはなし会(3・4 年)
- 19 日(水) 給食終了
- 20 日(木) 大掃除 短縮日課 4 校時
- 21 日(金) 2 学期終業式 短縮日課 4 校時
- 25 日(火) 冬季休業(～1/7)



*English Day…市内の全 ALT に来校していただき、学年ごとに英語に親しむ 1 日を過ごします。

学習発表会を意欲や自信に

11/9・10 に学習発表会を開催し、2 日目の土曜日には保護者の皆様がたくさんご来校くださいました。今年は入れ替え制をやめ撮影場所のみ移動をお願いしましたが、混乱なくご参観いただけたことにも感謝申し上げます。

1 年生は英語劇「大きなかぶ」を披露しました。来年度以降外国語活動の時間が増えさらに高学年は教科として学んでいきます。楽しそうに演じ歌う 1 年生を見て、こうして英語に自然に慣れ親しんだ経験が、学ぶ意欲につながってほしいと感じました。2～6 年生の合奏と合唱は、選曲や曲紹介も含め、それぞれの成長過程の窺える発表でした。運動会同様、皆で練習を重ねる過程自体にも、発表の場で緊張や不安感を乗り越えて力を出し切る経験にも大きな価値があります。演じ終わった後の安堵感や満足感が入り混じる子どもたちの笑顔を嬉しく思いました。学校運営協議会の委員さんには「全学年で聴き合い見せ合えるのがいい」「小規模校のよさが感じられた。」といった感想をいただきました。これからも有馬小らしさを大切に取り組んでまいります。

